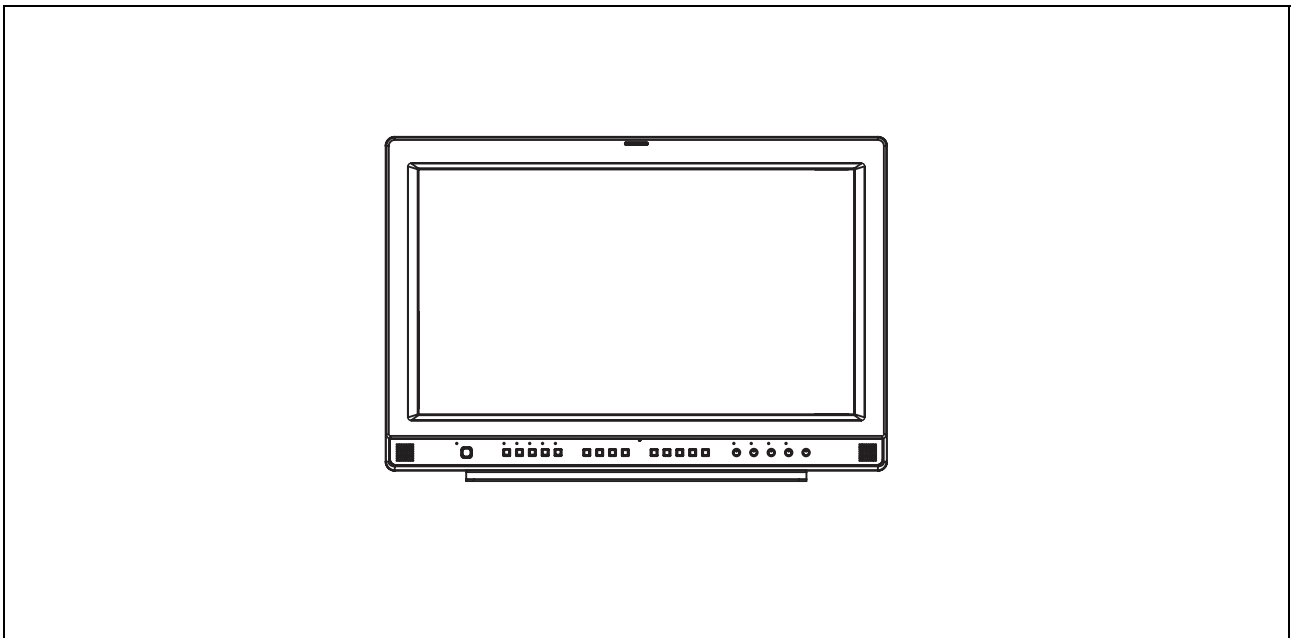


取扱説明書

LCD ビデオモニター

品番 BT-LH2600W



このたびは BT-LH2600W をご購入いただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(→ 3 ~ 5 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

付属品	2	MARKERの種類	17
使用上のご注意	2	VIDEO CONFIG	18
安全上のご注意	3	SYSTEM CONFIG	20
概要	6	FUNCTION	21
寸法図	6	GPI	25
各部の名称と機能	7	INPUT SELECT	26
ビデオモニター本体	7	AUDIO	27
前面パネル	8	CONTROL	28
後面パネル	9	HOURMETER	28
電源	10	REMOTE仕様	29
オンスクリーンメニューの操作	11	エラー/警告表示	33
ユーザーデータ	14	お手入れについて	33
メインメニュー	15	定格	33
メニュー構成	15	保守点検について	35
MARKER	16	保証とアフターサービス	35

付属品

電源コード x 1

電源コードフック x 1

ビス x 1

電源プラグアダプター x 1

使用上のご注意



- 液晶部は精密度の高い技術で作られています。99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯（赤、青、緑）するものがあります。これは故障ではありません。
- 液晶保護パネルは特殊加工をしております。固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像（焼き付き）が発生する場合があります。（なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。）
- 液晶の応答速度や輝度は環境温度によって変化します。
- 本機を直射日光にさらされた場所に取り付けしないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷の恐れがあります。
- 本機は VESA マウントには対応していません。
- 本機を設置する時は、ディスプレイの周囲および背面に 10 cm 以上の空間を空けてください。
- 2 ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付けて、必ず、接地端子にアース線を接続してください。
- アース線を接続する時は、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



安全上のご注意








お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。







お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)


	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告	
<p>不安定な場所に置かない</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>	<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>
<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>	<p>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</p> <p> ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
<p>電源コード・プラグが破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p> 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場 使用禁止</p>

 は安全上のご注意です。

警告


<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</p>  <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	<p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</p>  <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
<p>分解や改造をしない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を破損することがあります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>
<p>異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき 落下などで外装ケースが破損したとき 煙や異臭、異音などが出たとき  <p>そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 販売店に相談してください。 	<p>雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>接触禁止</p>

 は安全上のご注意です。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

<p>油煙や湯気の当るところ、湿気やほこりの多いところに置かない</p> <p> 電気や油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。 たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>	<p>長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p>電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>• 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>	<p>コードを接続した状態で移動しない</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 また、コードが引っかかって、けがの原因になります。</p>
<p>本機の放熱を妨げない</p> <ul style="list-style-type: none">• 押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください• テーブルクロスを掛けてたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください• ファンがある場合は、ふさがないようにしてください• 横倒し、逆さまにしなでください <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>	<p>持ち上げるときや移動するときには、充分注意する</p> <p> 落としたりすると、けがの原因になります。</p> <p>• 10 kg 以上の機器は、2 人以上で持ち上げるなどして、慎重に取り扱ってください。</p>
<p>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</p> <p> </p> <ul style="list-style-type: none">• 落下したり倒れたりして、けがの原因になります。• 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。	<p>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</p> <p> </p> <p>特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60°C 以上)になります。本機などを絶対に放置しなでください。 外装ケースや内部部品が劣化するほか火災の原因になります。</p>

 は安全上のご注意です。

概要

本機 (BT-LH2600W) は、高性能 26 インチワイド液晶ディスプレイパネルを搭載した、放送・業務用液晶モニターです。

■ 高性能液晶パネル

優れた色再現、広視野角、高速応答を可能にします。

■ 入力信号を即時に出画

液晶ディスプレイパネル特有の IP 変換^{*1} によるフィールド単位の時間遅れをなくし、入力から出画までの遅れを最小限に抑えています。

*1 インターレース (飛越) 走査信号をプログレッシブ (順次) 走査に変換すること

■ マルチフォーマット対応

- SDI(HD/SD 対応)、VIDEO、Y/C、YPbPr/RGB 入力を装備します。
- NTSC/PAL 両テレビ方式に対応しています。

■ 2 画面表示

画面を 2 つに分割して、同一入力端子、同一フォーマットに対して、画面比較を行うことができます。また、片方の画面に静止画を表示させたり、WFM を表示させることもできます (→ 20 ページの「SUB WINDOW」、23 ページの「SUB WINDOW について」、24 ページの「WFM について」)。

■ ピクセル・ツー・ピクセル機能

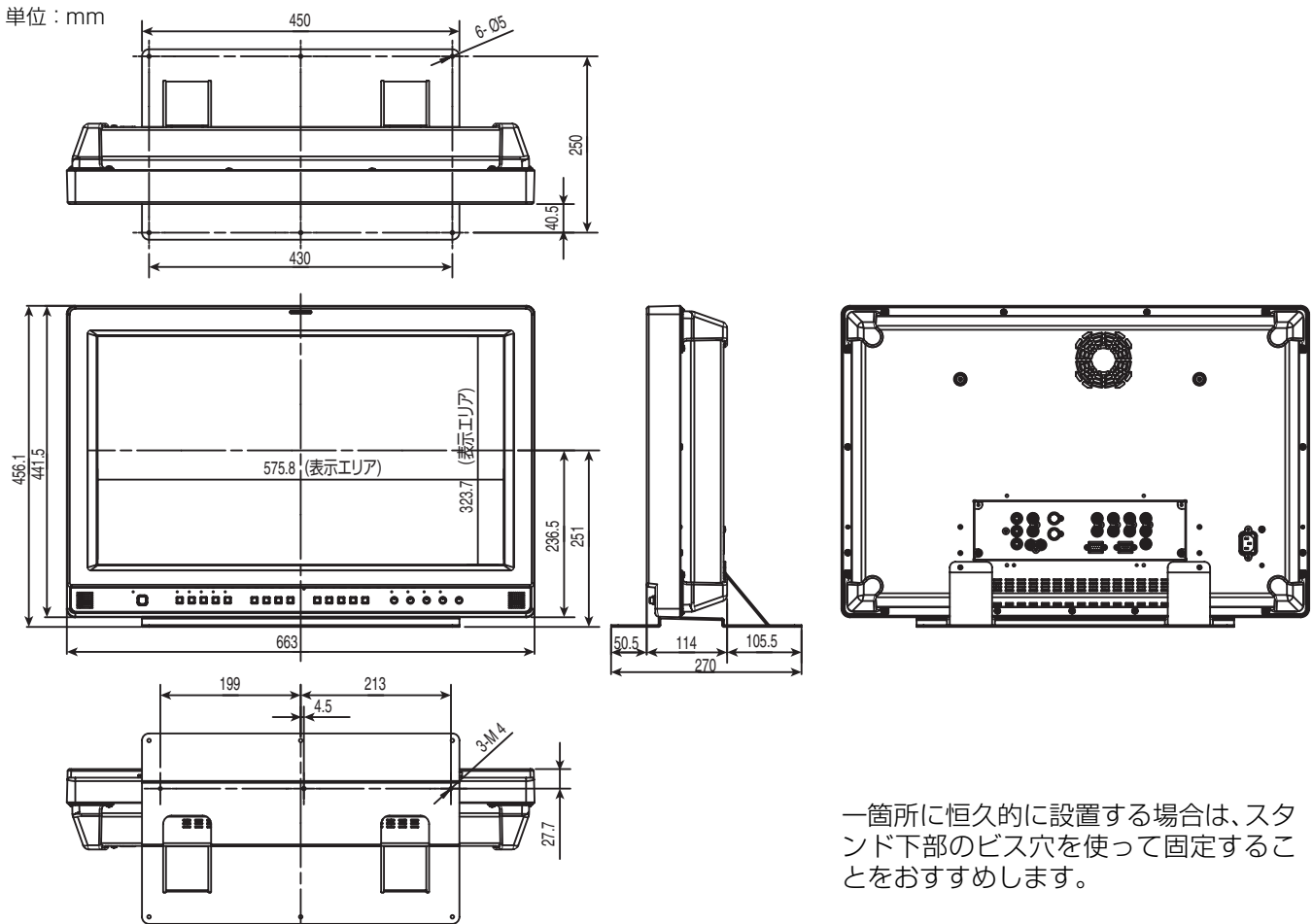
HD 信号入力時、実際の画素数で画像の確認ができます (→ 24 ページの「PIXEL TO PIXEL と PIXEL POS. について」)。

■ REMOTE 制御

用途に応じて、パラレルリモート制御 (GPI) ・シリアルリモート制御 (RS232C) を選択できます (→ 29 ~ 32 ページ)。

寸法図

単位 : mm

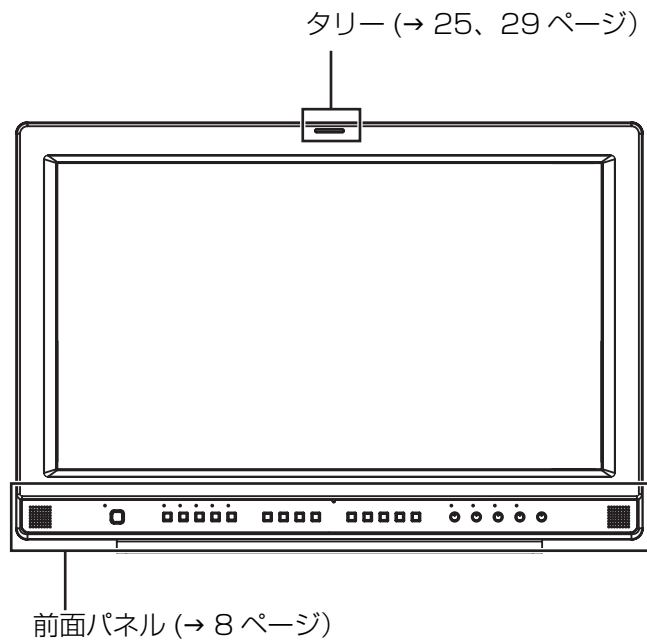


一箇所に恒久的に設置する場合は、スタンド下部のビス穴を使って固定することをおすすめします。

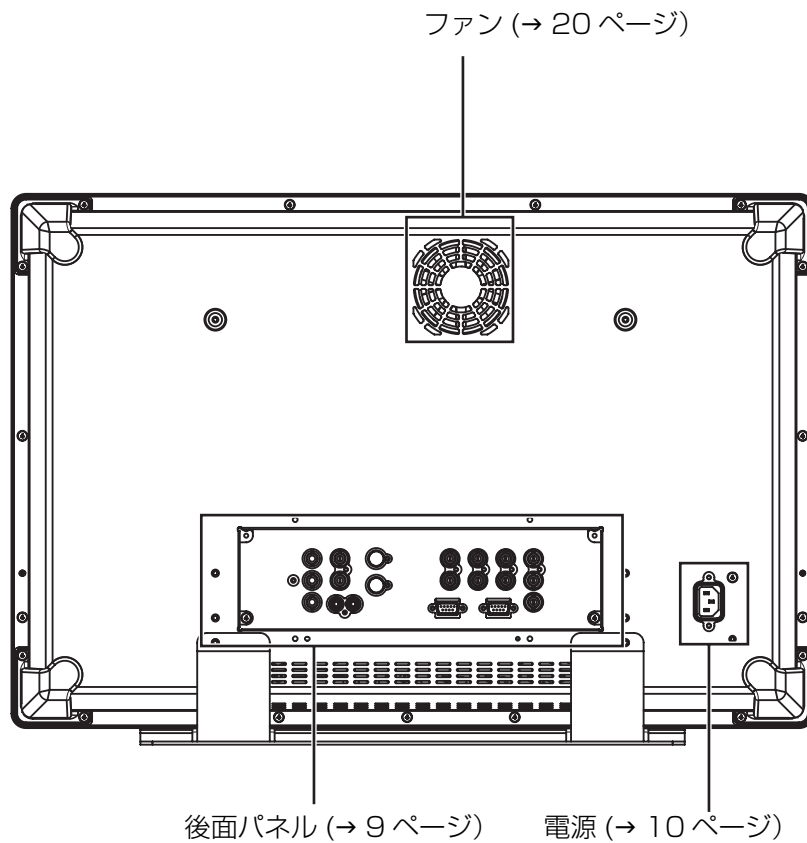
各部の名称と機能

ビデオモニター本体

前面

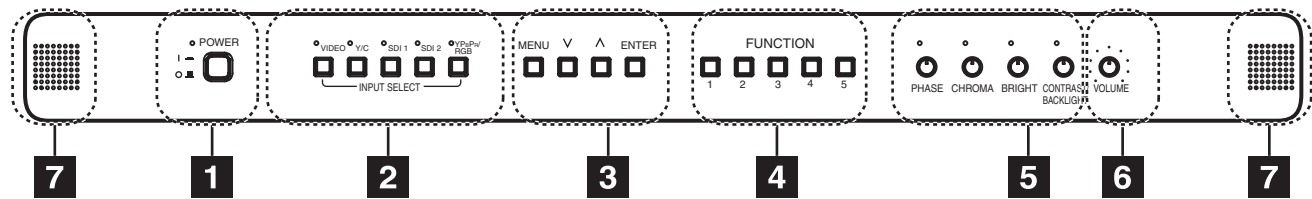


後面



各部の名称と機能 (つづき)

前面パネル



1 POWER スイッチ

電源を ON/OFF します。電源 ON 時にランプ（緑）が点灯します。

2 INPUT SELECT ボタン

信号の入力ラインを選択します。押されたボタンの入力ラインが選択され、上部のランプ（緑）が点灯します。

VIDEO : ビデオ入力
Y/C : Y/C 入力
SDI1 : シリアルデジタルインターフェース入力 (HD/SD 対応)
SDI2 : シリアルデジタルインターフェース入力 (HD/SD 対応)
YPbPr/RGB : アナログコンポーネント (YPbPr) または RGB 入力。PC 入力の RGB にも対応しています。

※ PC 入力時は、26 ページ「INPUT SELECT」メニューの「YPbPr/RGB」で「RGB-COMP.」を選んでください。

※電源 ON 時の入力ラインは、最後の電源 OFF 時に選択していたものになります。

3 MENU ボタン

メニューの表示、設定の選択・調整を行います。

MENU : メニューを表示する／抜ける、または1つ前のメニュー画面に戻るときに押します。
V, ^ : カーソルの上下移動、項目を選択するときを押します。
ENTER : 設定を確定、またはサブメニューに入るときに押します。

4 FUNCTION ボタン

FUNCTION 1: メニューで選択された項目を実行します。
FUNCTION 2: メニューで選択された項目を実行します。
FUNCTION 3: メニューで選択された項目を実行します。
FUNCTION 4: メニューで選択された項目を実行します。
FUNCTION 5: メニューで選択された項目を実行します。

5 画像調整つまみ

PHASE 0 ~ 60(30)
CHROMA 0 ~ 60(30)
BRIGHT 0 ~ 60(30)
CONTRAST 0 ~ 60(50)/BACKLIGHT 0 ~ 60(60)
(): 工場出荷時の値

プッシュ式の回転つまみです。つまみを押すと、画像調整つまみの状態が表示され、調整ができます。再度つまみを押すと設定値を保存します。

工場出荷時の値から設定値を変更すると、つまみ上のランプ（アンバー）が点灯します。

本機は電源 ON 時に設定値を読み込みます。つまみを押すたびに、または設定変更後 10 秒経過すると設定値を保存します。ただし、下記の場合は操作変更できません。

* コントロールロック時は 鍵マークが現れ、設定値の変更はできません (→ 28 ページ)。

* [CONTRAST] あるいは [BACKLIGHT] はメニューで選択された項目のみ調整できます。(→ 20 ページ)。

* MONO 機能 ON 時 (→ 18 ページ)、[PHASE] と [CHROMA] の操作は無効となります。

* 「RGB-COMP.」入力時、[PHASE] と [CHROMA] の操作は無効となります。

* HV DELAY (→ 23 ページ) 動作中 (OFF 以外に設定されたとき) は、[BRIGHT] の操作は無効となります。

6 音量つまみ

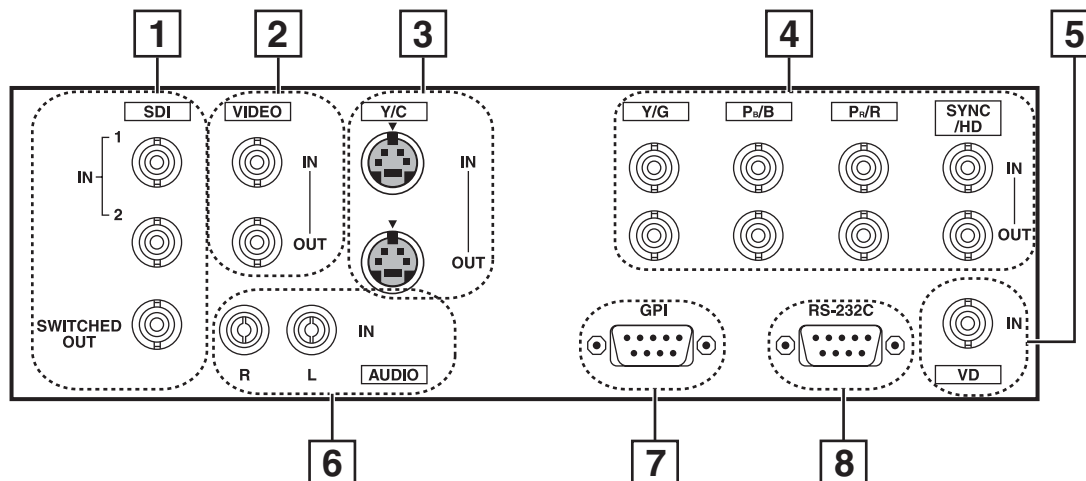
つまみを回転することで、スピーカー音量を調整することができます。

7 スピーカー

AUDIO 入力端子、SDI 端子（エンベディッドオーディオ）から入力した音声が出ます。出力させる音声を、メニューで設定します。

各部の名称と機能 (つづき)

後面パネル



1 SDI (HD/SD) 端子 (BNC)

IN1 : SDI 入力端子です (HD/SD 自動切り換え対応)。
IN2 : SDI 入力端子です (HD/SD 自動切り換え対応)。
SWITCHED OUT : 画面に表示中の SDI 入力信号のアクティブスルーアウト端子です。

※ SDI アクティブスルーアウトについて

[INPUT SELECT] で [SDI1] または [SDI2] が選択されているときのみ出力され、SDI 以外の入力を選択されているときは出力されません。

エンベディドオーディオ対応です。

SDI 入力から入った信号をアナログ変換して出力することはできません。

2 VIDEO 端子 (BNC)

IN : VIDEO 信号 (コンポジット信号) 入力端子です。

OUT : コンポジット入力信号のスルーアウト端子です。

※ スルーアウト端子を使用する場合、本機の 75 Ω 終端が自動的に開放となるため、接続する機器によっては、本機の映像レベルがオーバーすることがあります。

3 Y/C 端子

IN : Y/C 信号 (S 映像信号) 入力端子です。

OUT : Y/C 入力信号のスルーアウト端子です。

※ スルーアウト端子を使用する場合、本機の 75 Ω 終端が自動的に開放となるため、接続する機器によっては、本機の映像レベルがオーバーすることがあります。

4 YPbPr/RGB 端子 (BNC)

IN : YPbPr/RGB 信号入力端子です。

OUT : YPbPr/RGB 入力信号のスルーアウト端子です。

※ RGB 信号時は、外部同期信号を SYNC/HD 端子に接続することができます。PC の RGB 信号時は水平同期信号を SYNC/HD 端子に、垂直同期信号を VD 端子に接続します。

※ スルーアウト端子を使用する場合、本機の 75 Ω 終端が自動的に開放となるため、接続する機器によっては、本機の映像レベルがオーバーすることがあります。

5 VD IN 入力端子

PC の RGB 信号接続時の垂直同期信号 (VD) 入力端子です。

6 AUDIO 入力端子 (ピン端子)

すべての映像入力端子に対する共通の音声入力端子です。

※ [INPUT SELECT] で [SDI1] または [SDI2] を選択した時は、MENU の AUDIO で設定した音声が出力されます。

7 GPI 入力端子 (D-SUB 9 ピン)

GPI 信号により外部操作が可能です。

8 RS232C 入力端子 (D-SUB 9 ピン)

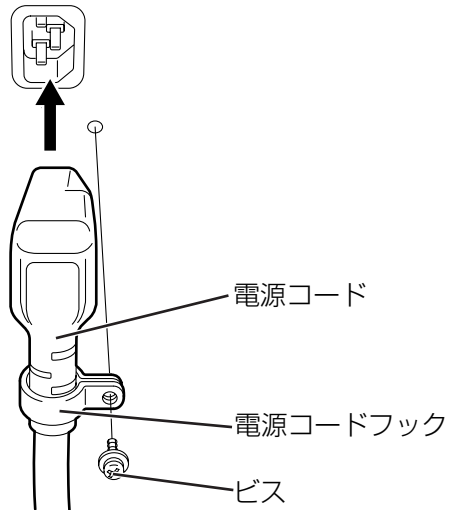
RS232C 信号により外部操作が可能です。

電源

電源コードの接続と固定

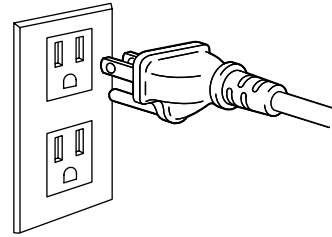
1. 本機に電源コードを取り付ける。

電源コードフックを使ってビスで取り付けます。

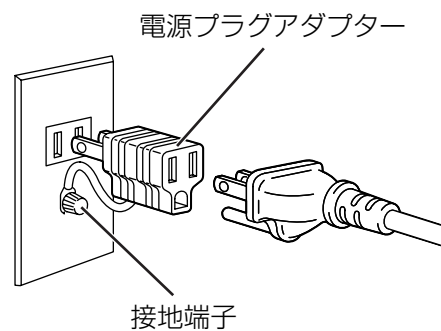


2. 電源コードをコンセントに接続する。

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。

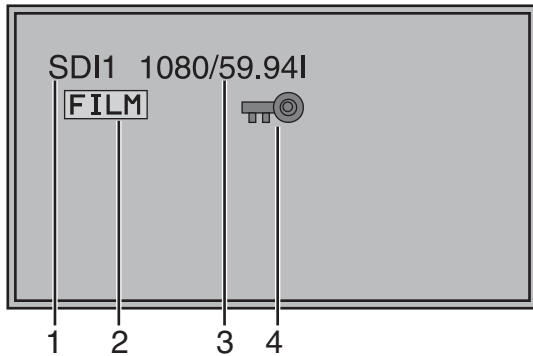


- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

オンスクリーンメニューの操作

画面上に、入力信号のステータス、画像調整つまみの状態、シャープネス表示、FUNCTION 表示、オーディオレベルメーター表示、メニュー表示の 6 種類の情報を表示します。

入力信号のステータス

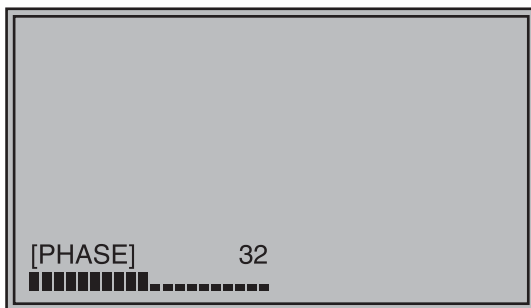


1. 選択されている入力ライン (→ 8 ページ, **2**)
 - VIDEO, Y/C, SDI1, SDI2, YPbPr/RGB-VIDEO/RGB-COMP.
2. 各種表示 (FILM モード)
 - 「GAMMA SELECT」が「FILM」のときに表示します。
3. 信号フォーマット
 - 「SYSTEM CONFIG」メニューの「STATUS DISPLAY」で表示状態を設定できます (→ 20 ページ)。
 - 「UNSUPPORT SIGNAL」と表示したときは、サポートされていない信号が入力されています。または、入力信号が「INPUT SELECT」メニューのフォーマット設定と異なっています。
 - 「NO SIGNAL」と表示したときは、信号が入力されていません。
4. 各種表示 (ロック設定)
 - コントロールロックが ON のときに表示します。

注:

「UNSUPPORT SIGNAL」と「NO SIGNAL」の表示は、正しく表示されない場合があります。

画像調整つまみの状態



画像調整つまみ (→ 8 ページ, **5**)

- プッシュ式の回転つまみです。
- つまみを押すと状態表示が現れます。再度つまみを押す、または 10 秒間操作が行われなかったときは、表示が消えます。
- 表示中は、設定を調節できますが、表示が消えているときは、設定を調節できません。
- 表示位置は変更できます (→ 20 ページ、「ROTARY POSITION」)。

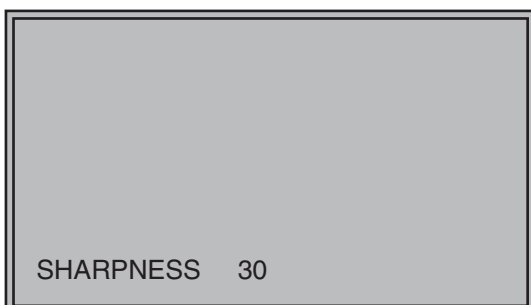
状態表示:

PHASE, CHROMA, BRIGHT, CONTRAST または BACKLIGHT

注:

音量つまみの状態表示は画面に表示されません。

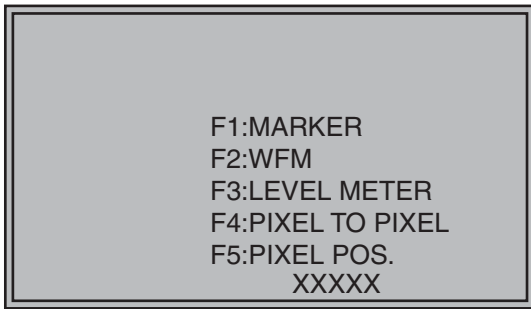
シャープネス表示



- SHARPNESS 設定時に表示します。
- 2 分間操作が行われなかったときは表示が消えます。

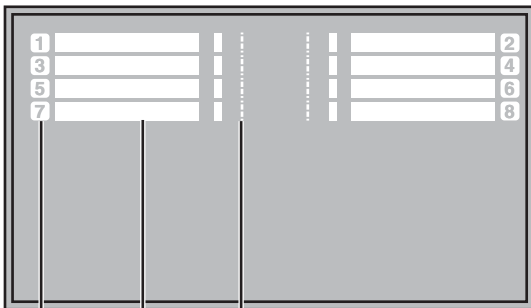
オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

FUNCTION 表示



- メニューにより表示設定できます。
- 「FUNCTION DISPLAY」(→ 21 ページ) が「ON」のとき、[FUNCTION1] から [FUNCTION5] のいずれかのボタンを押すと、FUNCTION に設定された項目の状態を表示します。
- 2 秒間操作が行われなかったときは表示が消えます。
- 「XXXXX」には動作状態が表示されます(→ 22 ページ、「FUNCTION ボタン操作時に画面表示される動作項目について」)。

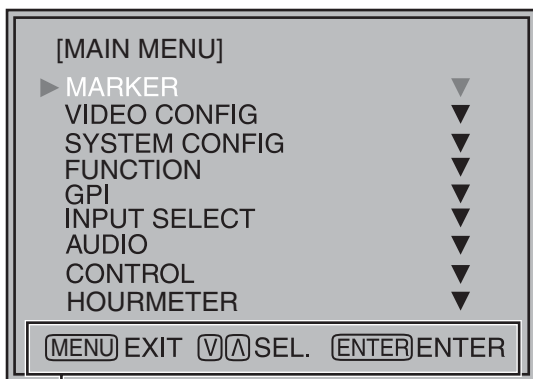
オーディオレベルメーター表示



CH 表示 レベル表示 0 dB ライン

- SDI 信号の時、音声レベルを白いスケルトン・バーメーターで表示します。
- レベル表示の ON/OFF、表示 CH 数はメニューで設定します。
- 0 dB ラインと CH 表示はメニューにて ON/OFF が可能です。

メニュー表示



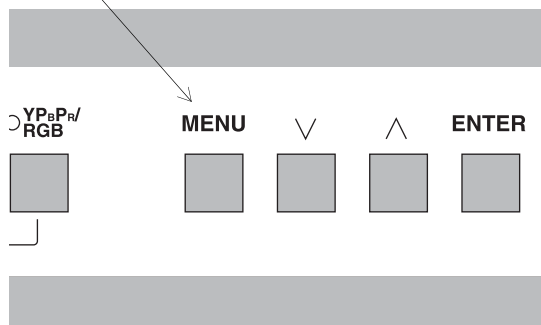
メニューボタンの操作説明が表示されます。

- メニュー操作時に表示します。
- 2 分間操作が行われなかったときは表示が消えます。
- 表示位置は変更できます(→ 20 ページ、「MENU POSITION」)。

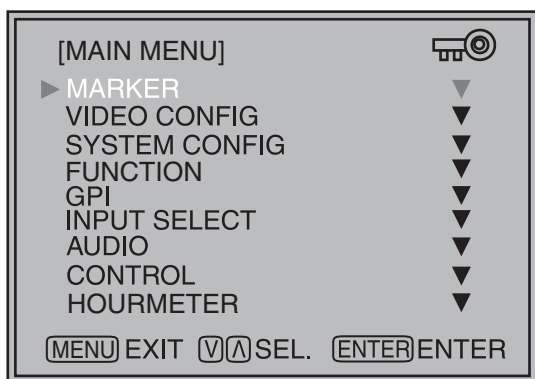
オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

メニュー操作

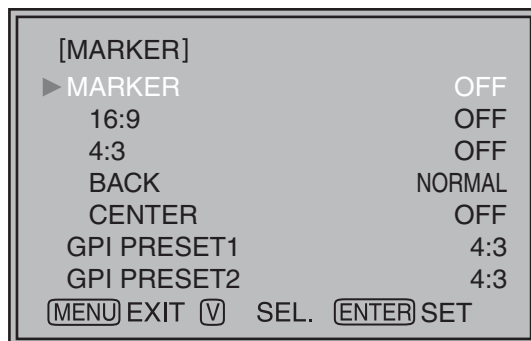
1. [MENU] を押して MAIN メニューを表示させる。



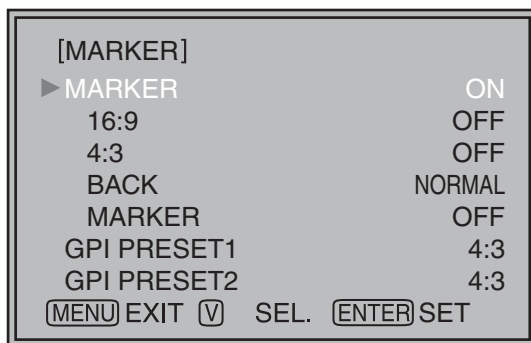
2. [V, ^] を押してメニューを選び、[ENTER] を押す。



3. [V, ^] を押してサブメニューを選び、[ENTER] を押す。
サブメニューの設定値が緑に変わります。



4. [V, ^] を押して設定値を選び、[ENTER] を押す。
キャンセルするには [MENU] を押します。



一つ前の画面に戻るには
[MENU] を押す

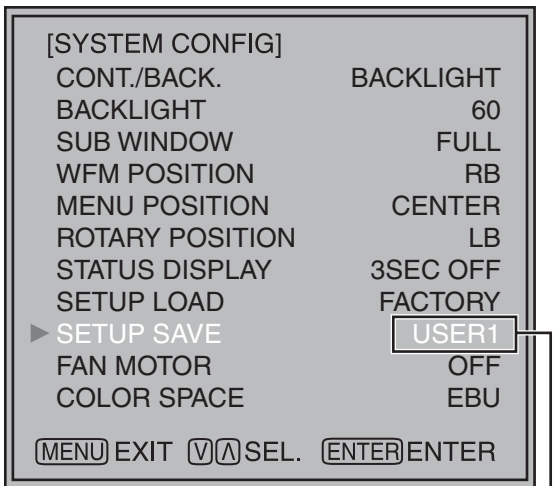
ユーザーデータ

本機は、メニューの設定値や画像調整つまみで行った画面の調整値の組み合わせを、ユーザーデータとして5つまで保存・呼び出しできます。また、設定値や調整値を工場出荷時の設定に戻すこともできます。ユーザーデータには次の設定が含まれます。

- 「SETUP LOAD/SAVE」を除くメニュー設定（本機前面のボタンの機能設定を含む）
- 画像調整つまみで行った画面の調整値

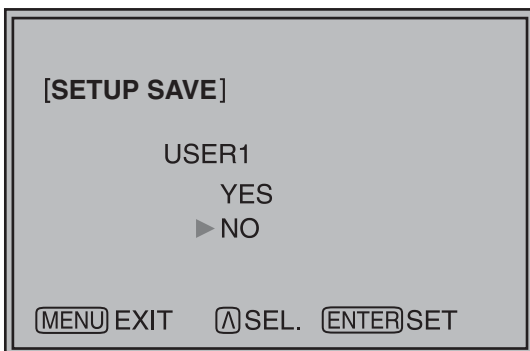
ユーザーデータの保存

1. [MENU] を押して MAIN メニューを表示させる。
2. [V, ^] を押して「SYSTEM CONFIG」メニューを選び、[ENTER] を押す。
3. [V, ^] を押して「SETUP SAVE」サブメニューを選び、[ENTER] を押す。
サブメニューの設定値が緑に変わります。



緑に変わる

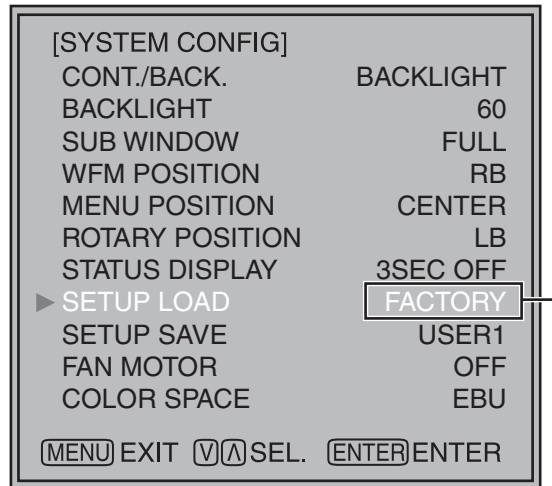
4. [V, ^] を押して「USER1」～「USER5」から保存するファイルを選び、[ENTER] を押す。
下の画面が現れます。



5. [YES] を選んで [ENTER] を押す。
ユーザーデータが保存されます。

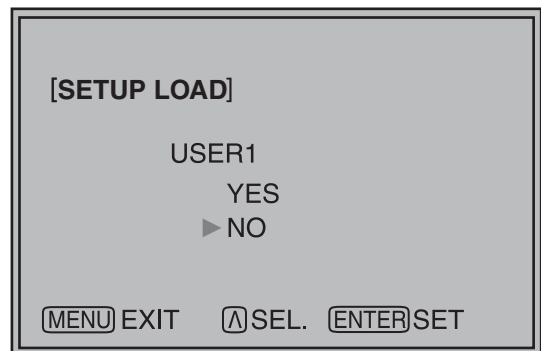
ユーザーデータの呼び出し

1. [MENU] を押して MAIN メニューを表示させる。
2. [V, ^] を押して「SYSTEM CONFIG」メニューを選び、[ENTER] を押す。
3. [V, ^] を押して「SETUP LOAD」サブメニューを選び、[ENTER] を押す。
サブメニューの設定値が緑に変わります。



緑に変わる

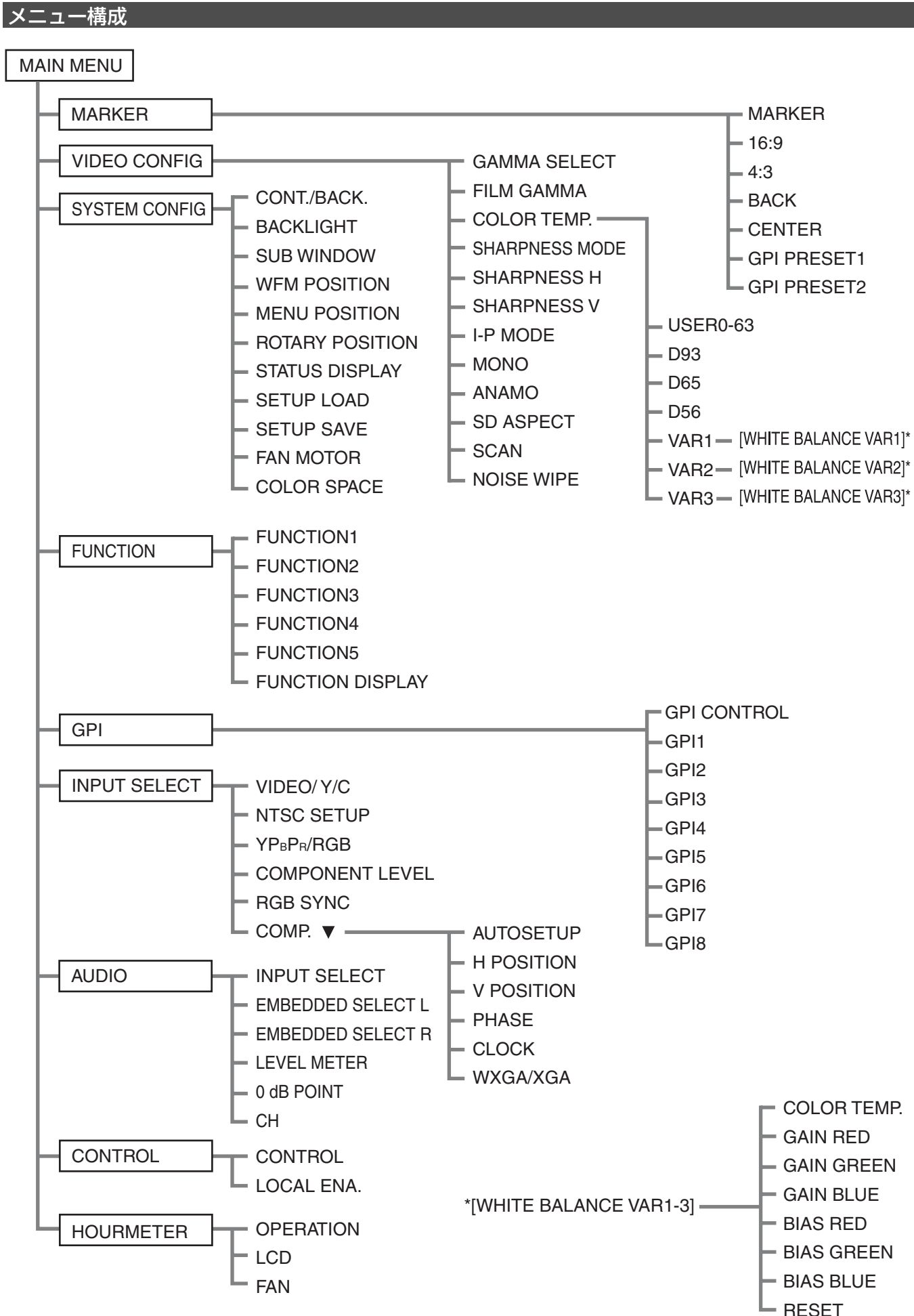
4. [V, ^] を押して「USER1」～「USER5」から呼び出すファイルを選び、[ENTER] を押す。
下の画面が現れます。
工場出荷時の設定に戻すには、「FACTORY」を選びます。



5. [YES] を選んで [ENTER] を押す。
ユーザーデータが読み込まれます。

一つ前の画面に戻るには
[MENU] を押す

メインメニュー



メインメニュー (つづき)

MARKER

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
MARKER	<u><OFF></u> *1 <ON>	MARKER の設定を有効にします。
16:9 *2*3	<OFF> <u><4:3></u> <13:9> <14:9> <CNSCO> <VISTA> <95%> <93%> <90%> <88%> <80%>	アスペクト設定が 16:9 の場合のマーカの種類を選択 / 表示します。 <OFF> マーカー表示なし <4:3> 4:3 マーカー <13:9> 13:9 マーカー <CNSCO> CNSCO マーカー <VISTA> VISTA マーカー <95%> 95% エリアマーカー <93%> 93% エリアマーカー <90%> 90% エリアマーカー <88%> 88% エリアマーカー <80%> 80% エリアマーカー
4:3 *2*4	<u><OFF></u> <95%> <93%> <90%> <88%> <80%>	アスペクト設定が 4:3 の場合のマーカの種類を選択 / 表示します。 <OFF> マーカー表示なし <95%> 95% エリアマーカー <93%> 93% エリアマーカー <90%> 90% エリアマーカー <88%> 88% エリアマーカー <80%> 80% エリアマーカー
BACK *2	<u><NORMAL></u> <HALF> <BLACK>	マーカー外の背景輝度を選択します。 <NORMAL> 通常背景 <HALF> 背景輝度 50% <BLACK> 背景輝度 0% (黒)
CENTER *2	<u><OFF></u> <ON>	センターマーカーを表示します。 <OFF> 表示なし <ON> 表示あり
GPI PRESET1 *5	<4:3> <13:9> <14:9> <CNSCO> <VISTA> <95% (16:9)> <93% (16:9)> <90% (16:9)> <88% (16:9)> <u><80% (16:9)></u> <95% (4:3)> <93% (4:3)> <90% (4:3)> <88% (4:3)> <80% (4:3)>	GPI PRESET1: GPI 端子の「MARKER1 ON/OFF」(→ 29 ページ) 操作で表示するマーカーを選択します。 GPI PRESET2: GPI 端子の「MARKER2 ON/OFF」(→ 29 ページ) 操作で表示するマーカーを選択します。 <4:3> 4:3 マーカー <13:9> 13:9 マーカー <14:9> 14:9 マーカー <CNSCO> CNSCO マーカー <VISTA> VISTA マーカー <95% (16:9)> 16:9 時の 95% エリアマーカー <93% (16:9)> 16:9 時の 93% エリアマーカー <90% (16:9)> 16:9 時の 90% エリアマーカー <88% (16:9)> 16:9 時の 88% エリアマーカー <80% (16:9)> 16:9 時の 80% エリアマーカー <95% (4:3)> 4:3 時の 95% エリアマーカー <93% (4:3)> 4:3 時の 93% エリアマーカー <90% (4:3)> 4:3 時の 90% エリアマーカー <88% (4:3)> 4:3 時の 88% エリアマーカー <80% (4:3)> 4:3 時の 80% エリアマーカー
GPI PRESET2 *5		

*1 REMOTE 時 MARKER 関連の制御が来た場合は「ON」になります (GPI 設定の場合は、GPI 優先になります)。

*2 マーカーの設定を GPI 機能 (→ 29 ページ) を使って制御するときは、ここでの設定は無効になります。

2 画面表示中は動作しません。

*3 HD 信号と SD 信号でアスペクト設定が 16:9 の場合のみ有効です。

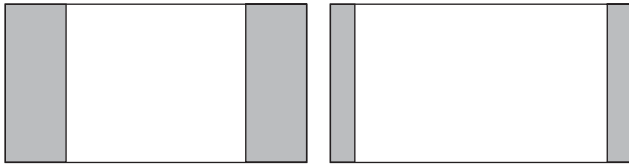
*4 SD 信号でアスペクト設定が 4:3 の場合に有効です。

*5 GPI 機能を使用して「GPI PRESET1」「GPI PRESET2」を設定したときは、RS-232C を使用した REMOTE 機能はエラー (無効コマンド: ERO01) になります。

MARKERの種類

■ 16:9用マーカー

(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)
マーカーは縦線のみ、表示されます。また、■部分が「MARKER BACK」項目となります。



4:3 マーカー

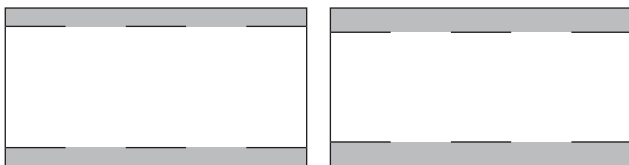
13:9 マーカー



14:9 マーカー

VISTA マーカー、CNSCO マーカー

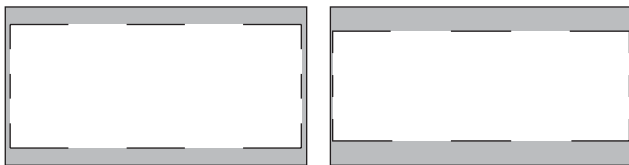
横の点線がマーカーとして表示されます。



VISTA マーカー

CNSCO マーカー

「VIDEO CONFIG」メニューの「SCAN」で、「UNDER」に設定したとき、縦の点線もマーカーとして表示されます。

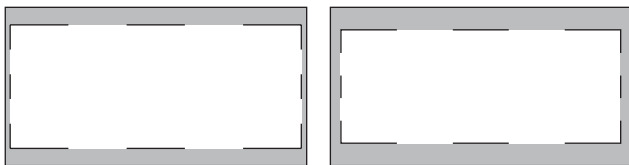


VISTA マーカー

CNSCO マーカー

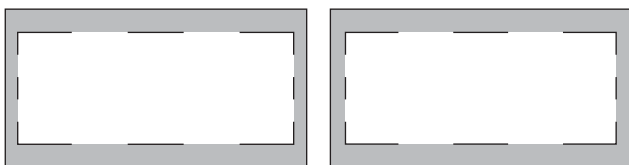
エリアマーカー

点線がマーカーとして表示されます。



95% エリアマーカー

93% エリアマーカー



90% エリアマーカー

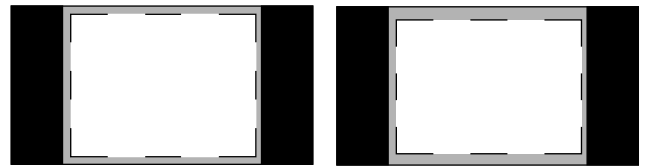
88% エリアマーカー



80% エリアマーカー

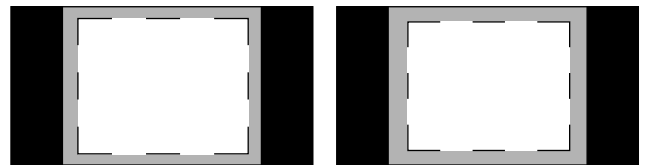
■ 4:3用マーカー

(アスペクト4:3のSD時に表示)
点線がマーカーとして表示されます。



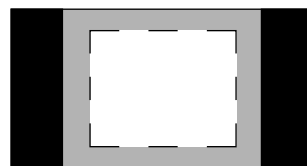
95% エリアマーカー

93% エリアマーカー



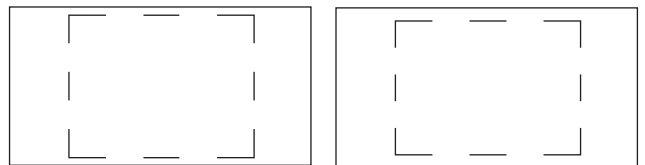
90% エリアマーカー

88% エリアマーカー



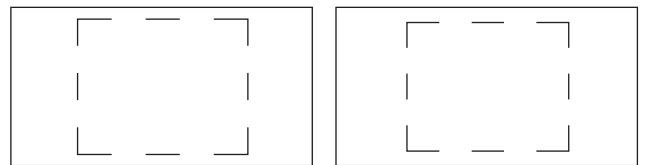
80% エリアマーカー

(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)
点線がマーカーとして表示されます。



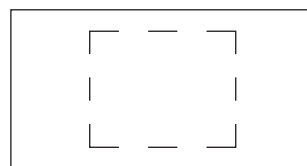
95% エリアマーカー

93% エリアマーカー



90% エリアマーカー

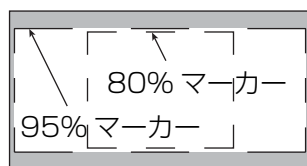
88% エリアマーカー



80% エリアマーカー

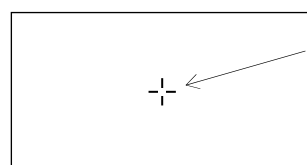
※ 16:9用のマーカーと同時に表示することが可能です。
同時表示の例

■部分が「MARKER BACK」項目となります。16:9で選択されているマーカーの背景を制御します。



16:9 マーカー：
95% マーカー
4:3 マーカー
80% マーカー

■ センターマーカー



センターマーカー
• 画像の中心に表示されます。

メインメニュー (つづき)

VIDEO CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
GAMMA SELECT *1*2	<STANDARD> <FILM> <STDIO/PST>	ガンマカーブを選びます。 <STANDARD> 標準モード <FILM> フィルムモード <STDIO/PST> 色重視モード (階調性よりも色合いを重視したガンマ特性で、スタジオやポストプロダクション等での使用に適しています) FILM を選んだときは、画面左上に FILM マークが表示されます。
FILM GAMMA *2	<VARICAM> <OTHER>	FILM ガンマモードの種類を選びます。 <VARICAM> バリカム用 <OTHER> バリカム以外用
COLOR TEMP.	<USER 0 ~ 63>*5 <D93> <D65> <D56> <VAR1> <VAR2> <VAR3>	色温度を選びます。 <USER 0 ~ 63> 可変設定 0 ~ 63 (色温度 3000K ~ 9300K 相当) <D93> 色温度 9300K 相当 <D65> 色温度 6500K 相当 <D56> 色温度 5600K 相当 <VAR1> WB 調整モード*4 <VAR2> WB 調整モード*4 <VAR3> WB 調整モード*4
SHARPNESS MODE *2	<HIGH>*3 <LOW>	輪郭補正のエッジの幅を選びます。 <HIGH> 細かいエッジ <LOW> 太いエッジ
SHARPNESS H *2	<0 ~ 30>*3	水平方向の輪郭補正值を設定します。調整時、項目表示が画面下部に移動します。
SHARPNESS V *2	<0 ~ 30>*3	垂直方向の輪郭補正值を設定します。調整時、項目表示が画面下部に移動します。
I-P MODE *2*6	<MODE2> <MODE1>	IP 変換モードを選びます。 <MODE2> Field 内 <MODE1> 通常モード
MONO *2	<OFF> <ON>	カラー / 白黒 (MONO) を切り換えます。 <OFF> カラー <ON> 白黒 ※ ON 時は画像調整つまみの CHROMA 設定は 0 に固定されます。
ANAMO *2*7	<OFF> <ON>	カメラでアナモレンズを使用して、SDI 720/60P、59.94P 入力すると、アナモサイズの倍率にリサイズします (上下拡大された信号を上下圧縮し、補正して表示することができます)。
SD ASPECT *2	<4:3> <16:9>	SD 信号入力時にアスペクト設定をします。 <4:3> 4:3 表示 <16:9> 16:9 表示
SCAN *2	<NORMAL> <UNDER>	アンダースキャン及び通常表示設定します。 <NORMAL> 通常表示 <UNDER> アンダースキャン
NOISE WIPE *2	<OFF> <ON>	<OFF> なめらかな階調表現が得られるモードです。特に、信号源や、CG 信号などの S/N が極めてよく、連続的に階調変化する信号入力時に有効です。 <ON> ノイズ感が軽減されるモードです。特に、カメラによる暗い場面の撮影映像などに有効です。通常は「ON」設定でのご使用をおすすめします。

*1 2 画面表示中は、主画面の静止画に対しては反映されません。

*2 「INPUT SELECT」メニュー (→26 ページ) の「YP_BP_R/RGB」で「RGB-COMP.」選択時は、動作しません。

*3 シャープネス値は、

① VIDEO 系入力ライン (VIDEO、Y/C) (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H/V : 0)

② それ以外の入力ラインの HD (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : HIGH、SHARPNESS H/V : 0)

③ それ以外の入力ラインの SD (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H/V : 0)

の値をそれぞれ設定でき、そのうち選択中の入力信号の設定値を表示します。選択時は、右下に調整状態を表示します。

*4 「VAR1」、「VAR2」、「VAR3」を選ぶと WB 調整モードに入ります (→19 ページ)。

*5 USER 0 ~ 63 を選ぶときは

① [ENTER] を押す (USER が水色になります)。 ② [V, A] で 0 ~ 63 を選び、[ENTER] を押す。

*6 「SUB WINDOW」機能 (→23 ページ) を使用するときには、

① 設定の変更は、「SUB WINDOW」機能を解除してから行ってください。

② 動きの速い映像には、「MODE2」をおすすめします。

*7 アナモサイズ表示中は「SCAN」変更は反映されません。

メインメニュー (つづき)

■ WB 調整モード

「VIDEO CONFIG」メニューの「COLOR TEMP.」で「VAR1」～「VAR3」を選ぶと、「WHITE BALANCE VAR1」～「WHITE BALANCE VAR3」(WB)の調整ができます。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
COLOR TEMP. ^{*1}	<USER 0 ~ 63> <D93> <u><D65></u> <D56>	調整の元となる色温度を選びます。 <USER 0 ~ 63> 可変設定 0 ~ 63 (色温度 3000K ~ 9300K 相当) <D93> 色温度 9300K 相当 <D65> 色温度 6500K 相当 <D56> 色温度 5600K 相当
GAIN RED	<0 ~ 511> (工場出荷時の設定値は色温度 <D65> の値) ※工場出荷時の調整値が設定されます。	RED の GAIN 成分を調整します。 ^{*2}
GAIN GREEN		GREEN の GAIN 成分をを調整します。 ^{*2}
GAIN BLUE		BLUE の GAIN 成分をを調整します。 ^{*2}
BIAS RED	<-512 ~ 511> (工場出荷時の設定: 0)	RED の BIAS 成分を調整します。 ^{*2}
BIAS GREEN		GREEN の BIAS 成分を調整します。 ^{*2}
BIAS BLUE		BLUE の BIAS 成分を調整します。 ^{*2}
RESET		「GAIN RED」～「BIAS BLUE」を「COLOR TEMP.」で選択した色温度の値にリセットします。

*1 「COLOR TEMP.」を選択し、項目を変え [ENTER] を押すと確認画面に変わります。このとき、「YES」を選択して、[ENTER] を押すと選択中の GAIN 値や BIAS 値は選択した色温度の値にリセットされます。

*2 調整時、項目表示が画面下部に移動します。

メインメニュー (つづき)

SYSTEM CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CONT./BACK.	<CONTRAST> <BACKLIGHT>	[CONTRAST/BACKLIGHT] (前面つまみ) に割り当てる機能を選択します。 <CONTRAST> CONTRAST 調整ができます。 <BACKLIGHT> BACKLIGHT の調整ができます。
BACKLIGHT	< 0 ~ <u>60</u> >	液晶のバックライトの明るさを調整します。
SUB WINDOW	<FULL> <PART>	副画面の種類を選びます。 <FULL> 入力信号画面全体を縮小して、横に並べて表示されます。 <PART> 入力信号画面の中央部分を切り取って、横に並べて表示されます (元の画面の大きさのまま表示されます)。
WFM POSITION	<LB> <RB> <RT> <LT>	WFM の表示位置を設定します。 <LB> 画面左下 <RB> 画面右下 <RT> 画面右上 <LT> 画面左上
MENU POSITION	<CENTER> <LB> <RB> <RT> <LT>	オンスクリーンメニューの表示位置を設定します。 <CENTER> 画面中央 <LB> 画面左下 <RB> 画面右下 <RT> 画面右上 <LT> 画面左上
ROTARY POSITION	<CENTER> <LB> <RB> <RT> <LT>	画像調整つまみの状態 (オンスクリーンメニュー) の表示位置を設定します。 <CENTER> 画面中央 <LB> 画面左下 <RB> 画面右下 <RT> 画面右上 <LT> 画面左上
STATUS DISPLAY	<CONTINUE> < <u>3SEC OFF</u> > <OFF>	入力信号ステータス (オンスクリーンメニュー) の表示状態を設定します。 <CONTINUE> 常時表示します。 <3SEC OFF> 状態変更後、約3秒間表示して消えます。 <OFF> 表示されません。
SETUP LOAD	<FACTORY> <USER1> *1 <USER2> *1 <USER3> *1 <USER4> *1 <USER5> *1	保存されている工場出荷設定値 (FACTORY) またはユーザーデータ (USER1 ~ USER5) を読み込みます。ユーザーデータの読み込み後も、画面には読み込み前に選択していた信号で表示されます。
SETUP SAVE	<USER1> <USER2> <USER3> <USER4> <USER5>	ユーザーデータを5つまで保存します (→ 14 ページ)。「SETUP SAVE/SETUP LOAD」を除くメニュー設定と画像調整つまみの調整値 (PHASE / CHROMA / BRIGHT / CONTRAST) を保存します。
FAN MOTOR	<OFF> < <u>ON</u> >	ファンの動作を設定します。 <OFF> ファンを停止します。バックライトの明るさが自動的に下がります。 <ON> ファンを動作させます。バックライトの明るさが通常明るさに戻ります。
COLOR SPACE	<EBU> <SMPTE-C>	スタジオ規格の色合いを設定します。

*1 工場出荷時は、「USER1」～「USER5」と「FACTORY」の内容は同一です。

メインメニュー (つづき)

FUNCTION

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
FUNCTION 1 ~ FUNCTION 5	<HV DELAY> <AUTOSETUP> <BLUE ONLY> <GAMMA SELECT> <SD ASPECT> <SCAN> <SUB WINDOW> <WFM> <MARKER> <PIXEL TO PIXEL> <PIXEL POS.> <LEVEL METER> <MONO> <UNDEF> (工場出荷時の設定 FUNCTION1: MARKER FUNCTION2: WFM FUNCTION3: LEVEL METER FUNCTION4: PIXEL TO PIXEL FUNCTION5: PIXEL POS.)	[FUNCTION1] から [FUNCTION5] (前面ボタン) に割り 当てる機能を選択します。 <HV DELAY> 同期信号 (水平、垂直) を表示します。 表示は以下の順に切り換わります。 DELAY OFF → V DELAY → H DELAY → HV DELAY → DELAY OFF <AUTOSETUP> PC 表示の自動調整を行います。 <BLUE ONLY> 赤と緑の信号をカットします。色相 (PHASE), 色の濃さ (CHROMA) を確認することができます。ボタンを押すたび に ON/OFF が切り換わります。 <GAMMA SELECT> ガンマカーブを表示します。 表示は以下の順に切り換わります。 GAMMA STANDARD → GAMMA FILM → GAMMA STUDIO/PST → GAMMA STANDARD <SD ASPECT> 「16:9」と「4:3」を切り換えます。*1 <SCAN> 「UNDER SCAN」と「NORMAL SCAN」を切り換えます。*1 <SUB WINDOW> 2画面表示設定が出来ます。*1 表示は以下の順に切り換わります。 SINGLE → FULL/PART → STILL → SINGLE <WFM> 波形表示画面が表示されます。 <MARKER> MARKER の ON/OFF 動作を切替えます。 表示は以下の順に切り換わります。 <PIXEL TO PIXEL> 画面表示を入力サイズ / 表示サイズに切替えます。 <PIXEL POS.> PIXEL TO PIXEL が ON の時、信号表示位置を設定します。 <LEVEL METER> AUDIOMETER 表示を切替えます。 表示は以下の順に切り換わります。 METER 8CH → METER 4CH → METER 2CH → OFF → METER 8CH <MONO> カラーと白黒表示を切替えます。 <UNDEF> 未設定
FUNCTION DISPLAY	<ON> <OFF>	[FUNCTION1] から [FUNCTION5] (前面ボタン) に割り 当てている機能の表示の設定をします。 <ON> 選択されている機能を表示します。 <OFF> 選択されている機能を表示しません。

*1 各設定を変更するとメニュー設定も変更されます。

メインメニュー (つづき)

■ FUNCTION の各設定に対する制限について

以下の条件の場合、各設定は動作しません。

設定	動作しない条件
HV DELAY	SUB WINDOW、WFM、PIXEL TO PIXEL モード動作中は「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」のときは、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
AUTO SETUP	「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」以外のときは、「NOT RGB-COMP. CH」と表示され、動作しません。 「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」のときで、NO SIGNAL 時は、「INCOMPLETE」と表示され、動作しません。
GAMMA SELECT	GPI 項目設定時は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」のときは、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
SD ASPECT	GPI 項目設定時は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 SUB WINDOW (静止画)、HD 表示 (PIXEL TO PIXEL 含む) 中は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
SCAN	GPI 項目設定時は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 SUB WINDOW、PIXEL TO PIXEL モード中は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
SUB WINDOW	「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」のときは、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 SUB WINDOW で動画状態時に、「RGB-COMP.」を選択すると、SINGLE 画面になります。また、「RGB-COMP.」以外を選択すると、2 画面動画状態になり、静止画の場合は、BLACKOUT します。
WFM	SUB WINDOW、PIXEL TO PIXEL モード中は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」または「RGB-VIDEO」のときは、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
MARKER	「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」のときは、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 GPI 項目設定時、SUB WINDOW モード中は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
PIXEL TO PIXEL	「INPUT SELECT」メニューの「YP _B P _R /RGB」が「RGB-COMP.」または「RGB-VIDEO」のときは「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。 SUB WINDOW モード中は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。
PIXEL POS.	PIXEL TO PIXEL が OFF のときは「PIXEL TO PIXEL OFF」と表示され、動作しません。 720P 表示の PIXEL TO PIXEL 時は CENTER 表示になります。 1080 表示中に、PIXEL TO PIXEL モードの POSITION が CENTER 以外の状態で、720P 信号が選択された場合は、CENTER 表示になります。
MONO	GPI 項目設定時は、「INVALID FUNCTION」と表示され、動作しません。

■ FUNCTION ボタン操作時に画面表示される動作項目について

[FUNCTION1] から [FUNCTION5] のいずれかのボタンを押したときに、各ボタン割り当てられた操作により次のような表示が出ます。

- **HV DELAY**
DELAY OFF、V DELAY、H DELAY、HV DELAY
- **AUTOSETUP**
COMPLETE : 完了表示
INCOMPLETE : 未完了表示
NOT RGB-COMP. CH
- **GAMMA SELECT**
GAMMA STANDARD、GAMMA FILM、GAMMA STUDIO/PST
- **SCAN**
NORMAL SCAN、UNDER SCAN
- **SUB WINDOW**
SINGLE、FULL/PART、STILL
- **MARKER**
MAKER OFF、4:3 MARKER、13:9 MARKER、14:9 MARKER、VISTA MARKER、CNSCO MARKER、95% MARKER、93% MARKER、90% MARKER、88% MARKER、80% MARKER
- **PIXEL TO PIXEL/PIXEL POSITION**
CENTER、LEFT TOP、LEFT BOTTOM、RIGHT TOP、RIGHT BOTTOM
PIXEL TO PIXEL OFF
- **LEVEL METER**
METER OFF、METER 2CH、METER 4CH、METER 8CH

メインメニュー (つづき)

■ HV DELAY について

映像のブランキング期間を表示します。ボタンを押すたびに、H ブランキング表示→ V のブランキング表示 → H と V のブランキング表示→ブランキング表示なしと切り換わります。

■ SUB WINDOW について

「SUB WINDOW」機能を利用すると、通常画面（主画面）を分割して、下記に示すように 2 画面で表示し、本機に記憶した静止画と動画を比較できます。

「SYSTEM CONFIG」メニュー（→ 20 ページ）の「SUB WINDOW」の設定（FULL、PART）により、下記のように画面が切り換わります。

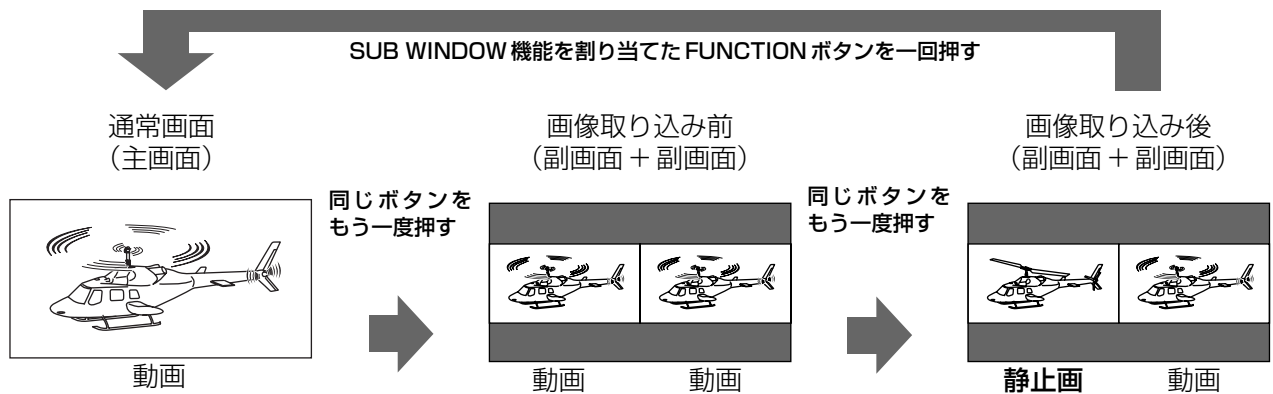
「SUB WINDOW」機能を割り当てた [FUNCTION1] から [FUNCTION5]（→ 21 ページ）のいずれかのボタンを押すたびに画面が切り換わります（「SUB WINDOW」機能を利用するには、[FUNCTION1] から [FUNCTION5] のいずれかに「SUB WINDOW」機能を割り当てる必要があります）。

「I-P MODE」（→ 18 ページ）を設定するときは、

- ① 「SUB WINDOW」機能を解除してから行ってください。
- ② 動きの速い映像には、「MODE2」をおすすめします。

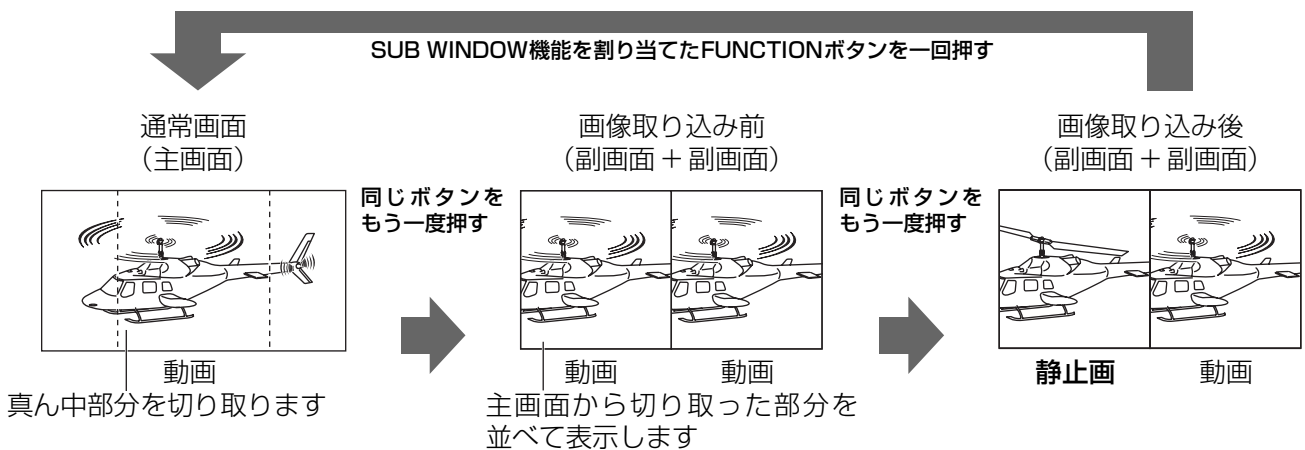
• FULL

主画面をそのまま小さくして 2 画面（副画面 + 副画面）にします。



• PART

主画面の中で副画面サイズのみを切り取って 2 画面（副画面 + 副画面）にします。



画面はアスペクト 16:9 のときのものです。

FULL/PART 選択時の注意事項

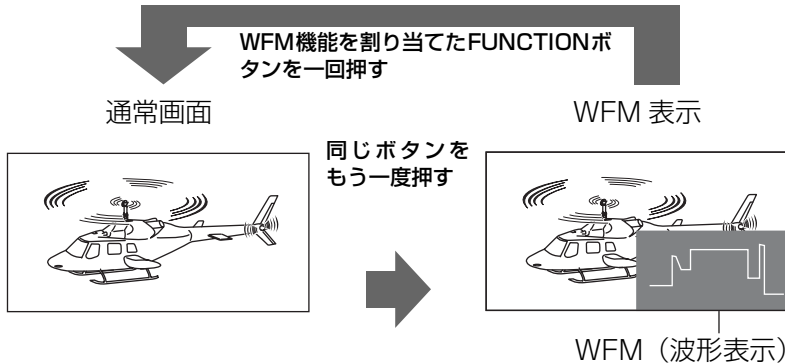
同一入力端子、同一フォーマットに対して画面比較を行う機能です。異なるフォーマット入力、異なる入力チャンネル間を表示させた場合、副画面（左側、静止画）が乱れたり、ブランキングがかかったりしますが、静止画取得時の入力端子に同一フォーマット信号を入力すると正しく表示されます。

メインメニュー (つづき)

■ WFM について

「WFM」機能を利用すると、波形表示画面を表示することができます。

「WFM」機能を割り当てた [FUNCTION1] から [FUNCTION5] (→ 21 ページ) のいずれかのボタンを押すたびに表示が切り換わります (「WFM」機能を利用するには、[FUNCTION1] から [FUNCTION5] のいずれかに「WFM」機能を割り当てる必要があります)。



画面はアスペクト 16:9 のときのものです。

■ PIXEL TO PIXEL と PIXEL POS. について

「PIXEL TO PIXEL」機能を利用すると、実際の画素数で、画像が確認できます (HD 信号のみ)。

まず、「PIXEL TO PIXEL」を割り当てた [FUNCTION1] から [FUNCTION5] (→ 21 ページ) のいずれかのボタンを押し、機能を「ON」にします。その状態で「PIXEL POS.」を割り当てた [FUNCTION1] から [FUNCTION5] (→ 21 ページ) のいずれかのボタンを押すと、押すたびに信号表示位置が切り換わります (「PIXEL TO PIXEL」機能を利用するには、[FUNCTION1] から [FUNCTION5] のいずれかに「PIXEL TO PIXEL」と「PIXEL POS.」を割り当てる必要があります)。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
PIXEL TO PIXEL *1	<OFF> <ON>	画面表示サイズを入力信号サイズで表示する設定にします。 対応フォーマット 1080/60I/59I/50I/30P/29P/25P/24P/23P/ 24PsF/23PsF、 720/60P/59P/50P(SDI/YPbPr)
PIXEL POS.	<CENTER> <LEFT TOP> <RIGHT TOP> <RIGHT BOTTOM> <LEFT BOTTOM>	PIXEL TO PIXEL が ON の時、信号表示位置を設定します。*2 <CENTER> 画面中央 <LT> 画面左上 <RT> 画面右上 <RB> 画面右下 <LB> 画面左下

*1 PIXEL TO PIXEL が ON になった場合、下記の設定は無効になります。

「VIDEO CONFIG」での「ANAMO」を「ON」、 「SCAN」を「UNDER」の設定

「FUNCTION」での「HV DELAY」の各設定

入力が「SDI1」、 「SDI2」、 「YPbPr」のときに動作します。ただし、1080/60P と 1080/50P の信号は除きます。

*2 入力信号フォーマットが 720 の時、CENTER 表示のみになります。

メインメニュー (つづき)

GPI

「GPI CONTROL」項目で GPI 機能全体の有効 / 無効を設定し、GPI 端子 (→ 29 ページ) の各ピンに割り当てる機能をそれぞれ設定します。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
GPI CONTROL	<DISENABLE> <ENABLE>	GPI 機能の有効無効設定 <DISENABLE> 無効 <ENABLE> 有効
GPI1 ~ GPI8	<UNDEF> <MARKER1 ON/OFF> <MARKER2 ON/OFF> <MARKER BACK HALF> <MARKER BACK BLACK > <CENTER MARKER> <INPUT SEL. VIDEO> <INPUT SEL. Y/C> <INPUT SEL. SDI1> <INPUT SEL. SDI2> <INPUT SEL. YP _B Pr/ RGB> <SD ASPECT> <SCAN> <R-TALLY> <G-TALLY> <MONO> <GAMMA SEL. FILM> <GAMMA SEL. STDIO/PST> <RGB SYNC>	GPI 制御端子のピンアサインを設定します。 各端子とも設定できる項目は同じです (29 ページを参照してください)。

注:

以下の場合には動作しません。

- 入力信号が HD 時および、PC 時の「SD ASPECT」動作
- 入力信号が PC 時の「SCAN」動作
- 入力信号が PC 時の「GAMMA SELECT」動作
- 「INPUT SELECT」メニューの「YP_BPr/RGB」で「RGB-VIDEO」選択時以外の「RGB SYNC」動作
- 入力信号が PC 時の「MONO」動作

メインメニュー (つづき)

INPUT SELECT

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
VIDEO / Y/C	<AUTO> <NTSC> <PAL>	VIDEO および Y/C 入力の入力フォーマットを選択します。 ^{*1} <AUTO> NTSC か PAL のどちらかを自動的に選択します。 <NTSC> NTSC <PAL> PAL
NTSC SETUP	<75> <00>	NTSC のセットアップレベルを選択します。 <75> 7.5% セットアップ付信号時に選択します。(モニター内部で 7.5% セットアップレベルを黒レベルに合わせています) <00> セットアップなし信号時に選択します。
YP _B Pr/RGB	<YP _B Pr> <RGB-VIDEO> <RGB-COMP.>	YP _B Pr (コンポーネント) または RGB の入力モードを選択します。 <YP _B Pr> YP _B Pr 信号を選択します。 <RGB-VIDEO> ビデオの RGB 信号を選択します。 <RGB-COMP.> PC の RGB 信号を選択します。
COMPONENT LEVEL	<SMPTE> <B75> <B00>	YP _B Pr (コンポーネント) 信号の入力レベルを選択します。 <SMPTE> SMPTE で規定された信号レベルで、クロマ 100% 時に P _B , P _R = 0.7Vp-p となります。 <B75> セットアップ付ベータカム等の接続時に選択します。(モニター内部で 7.5% セットアップレベルを黒レベルに合わせています) <B00> セットアップなしのベータカム等の接続時に選択します。
RGB SYNC	<G-ON> <EXT>	RGB-VIDEO 入力時の SYNC を選択します。 <G-ON> G 信号に同期信号が重畳されている場合に選択します。 <EXT> 外部同期信号で同期をとる場合に選択します。
COMP.	▼	アナログ PC 設定をおこないます。(下記「COMP.」参照)

*1 出荷設定は「AUTO」ですが、入力信号に外からのノイズ等の恐れがある場合、フォーマットを指定することをお勧めします。

■ COMP.

「INPUT SELECT」メニューの「YP_BPr/RGB」で「RGB-COMP.」を選択していると、以下のメニューに切り換わります。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
AUTOSETUP ^{*1}		「INPUT SELECT」メニューの「YP _B Pr/RGB」で、「RGB-COMP.」を選択したときに、画面自動調整をおこないます。別画面が表示され、「YES」を選ぶと「AUTOSETUP」を実行します。
H POSITION	<0 ~ 60> (工場出荷時の設定: 30)	水平方向の画像表示位置を調整します。 ^{*2}
V POSITION	<0 ~ 60> (工場出荷時の設定: 30)	垂直方向の画像表示位置を調整します。 ^{*2}
PHASE	<0 ~ 31> (工場出荷時の設定 → 27 ページ)	クロック位相を 1/32 クロック周期で調整します。 ^{*2}
CLOCK	<700 ~ 1800> (工場出荷時の設定 → 27 ページ)	サンプリングクロックをドット単位で調整します。 ^{*2}
WXGA/XGA	<XGA> <WXGA>	WXGA/XGA を切り換えます。

*1 「AUTOSETUP」実行中は、「EXECUTING」、また、完了時は「COMPLETE」と表示されます。

その他の表示情報として、完了できなかった場合は、「INCOMPLETE」と表示されます。

*2 入力対応フォーマットごとに調整できます。

メインメニュー (つづき)

■「PHASE」と「CLOCK」の工場出荷時の設定値

フォーマット	CLOCK	PHASE	フォーマット	CLOCK	PHASE
640x400(70Hz)	800	18	1024x768(60Hz)	1344	2
640x480(60Hz)	800	17	1024x768(70Hz)	1328	22
640x480(75Hz)	840	10	1024x768(75Hz)	1312	16
640x480(85Hz)	832	5	1024x768(85Hz)	1376	17
800x600(60Hz)	1056	31	1280x768(60Hz)	1728	8
800x600(75Hz)	1056	12	1280x768(75Hz)	1712	31
800x600(85Hz)	1048	29	1280x1024(60Hz)	1688	20

AUDIO

スピーカー出力を設定します。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
INPUT SELECT	<u><AUTO></u> <ANALOG>	スピーカー出力を選択します。 <AUTO> 前面パネルの [INPUT SELECT] ボタンで SDI 入力ライン選択時： エンベディドオーディオ (SDI 端子) 前面パネルの [INPUT SELECT] ボタンで SDI1、SDI2 以外の入力ライン選択時： アナログ (AUDIO 入力端子) <ANALOG> アナログ (AUDIO 入力端子)
EMBEDDED SELECT L	<CH1 ~ CH8> (工場出荷時の設定： CH1)	左スピーカーに出力するエンベディドオーディオの音声 ch の選択をします。
EMBEDDED SELECT R	<CH1 ~ CH8> (工場出荷時の設定： CH2)	右スピーカーに出力するエンベディドオーディオの音声 ch の選択をします。
LEVEL METER^{*1}	<OFF> <u><8CH></u> <4CH> <2CH>	OSD に表示するエンベディドオーディオメーターの選択を行います。
0dB POINT	<u><ON></u> <OFF>	メーター表示における 0 dB ラインの ON/OFF 選択をします。
CH	<u><ON></u> <OFF>	メーター表示における CH 表示の ON/OFF 選択をします。

*1 「INPUT SELECT」設定のスピーカー出力がアナログのときは LEVEL METER を表示してもメーターは振れません。

メインメニュー (つづき)

CONTROL

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CONTROL	<LOCAL> <REMOTE>	操作を選択します。(兼コントロールロック) <LOCAL> フロント操作有効 <REMOTE> リモート操作有効 (フロント操作がロックされます) *1
LOCAL ENA. *2	<DIS.> <INPUT>	「CONTROL」で「REMOTE」選択時のフロント操作の有効/無効を選択します。 <DIS.> すべてのフロント操作が無効になります。 <INPUT> [INPUT SELECT] ボタン、音量つまみ以外の操作は無効になります。

*1 ロック中は、メニュー表示はできません。

ロック中のメニュー設定の変更は、「CONTROL/LOCAL ENA.」項目のみ可能です。

ロック中は、画像調整つまみを操作しても設定値は変わりません。

ロック中の操作は、「LOCAL ENA.」の設定に従います。ロック中は、音量つまみ (→ 8 ページ、**6**) の操作は可能です。

ロック中は、ステータスに鍵マークが表示されます。



*2「CONTROL」が「REMOTE」の場合のみ有効です。

HOURLMETER

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
OPERATION	<**H>	通電時間を表示します。
LCD	<**H>	バックライト点灯時間を表示します。
FAN	<**H>	FAN 回転時間を表示します。*3

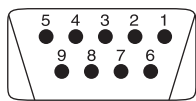
*3 FAN MOTER ON/OFF と連動します。

REMOTE 仕様

本機は GPI/RS-232C 端子を使って、REMOTE 操作が可能です。

GPI 端子

GPI画面の各項目は、以下の端子に対応しています。メニューのGPI画面で機能を各端子に割り当てることができます(→ 25ページ)。各端子に割り当てられた機能は、GND (5Pin) に対してショート (ON) かオープン (OFF) かで設定された動作を行います。



GPI 端子 (9P)

ピン番号	信号
1	GPI1
2	GPI2
3	GPI3
4	GPI4
5	GND
6	GPI5
7	GPI6
8	GPI7
9	GPI8

■ 動作条件

レベル動作：GND に対して、ショートさせている間に動作します。

エッジ動作：GND に対して、オープンからショートさせたときに動作します。

※レベル動作する機能を複数の端子に割り当てた場合、いずれかの端子をショートさせている間、その機能は動作し続けます。

割り当て項目	機能	動作条件
UNDEF	未設定 (端子割り当て機能なし)	—
MARKER1 ON/OFF* ¹	「MARKER」メニューの「GPI PRESET1」(→ 16 ページ) で決められたマーカー表示切り換え	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER2 ON/OFF* ¹	「MARKER」メニューの「GPI PRESET2」(→ 16 ページ) で決められたマーカー表示切り換え	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER BACK HALF* ²	「GPI PRESET1」(→ 16 ページ) で表示されているマーカー外の背景の輝度を 50% にします。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER BACK BLACK* ²	「GPI PRESET1」(→ 16 ページ) で表示されているマーカー外の背景の輝度を 0% にします。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
CENTER MARKER	センターマーカー表示の ON/OFF を切り換えます。(他のマーカーが表示されているときは重畳して表示されます)	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
INPUT SEL. VIDEO	入力システムを VIDEO に切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. Y/C	入力システムを Y/C に切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. SDI1	入力システムを SDI 1 に切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. SDI2	入力システムを SDI 2 に切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. YP _B Pr/RGB	入力システムを YP _B Pr/RGB に切り換えます。	エッジ動作
SD ASPECT	SD 信号入力時にアスペクト設定をします。(HD 信号時および PC 信号時は無効)	レベル動作 (ショート：16:9, オープン：4:3)
SCAN	スキャンモードの「UNDER」と「NORMAL」を切り換えます。(PC 信号時は無効)	レベル動作 (ショート：UNDER, オープン：NORMAL)
R-TALLY* ³	赤色タリーを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
G-TALLY* ³	緑色タリーを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MONO	カラー/白黒 (MONO) を切り換えます。(PC 信号時は無効)	レベル動作 (ショート：モノクロ, オープン：カラー)
GAMMA SEL. FILM	ガンマカーブを FILM モードに切り換えます。	レベル動作 (ショート：FILM モード, オープン：STANDARD モード)
GAMMA SEL. STDIO/PST	ガンマカーブを STDIO/PST モードに切り換えます。	レベル動作 (ショート：STDIO/PST モード, オープン：STANDARD モード)
RGB SYNC* ⁴	RGB-VIDEO 入力時の SYNC を選択します	レベル動作 (ショート：EXT, オープン：G-ON)

*1 アスペクト 16:9 の場合、16:9 マーカーと 4:3 マーカーが選択されて同時に ON の場合は両方のマーカーを表示します。

*2 16:9 マーカーと 4:3 マーカーを同時に表示しているときは、16:9 で選択されているマーカーの背景を制御します。

*3 「R-TALLY」と「G-TALLY」同時に ON になった場合はタリーの色は橙色になります。

*4 「INPUT SELECT」メニューの「YP_BPr/RGB」で「RGB-VIDEO」が選択されているときのみ有効です。

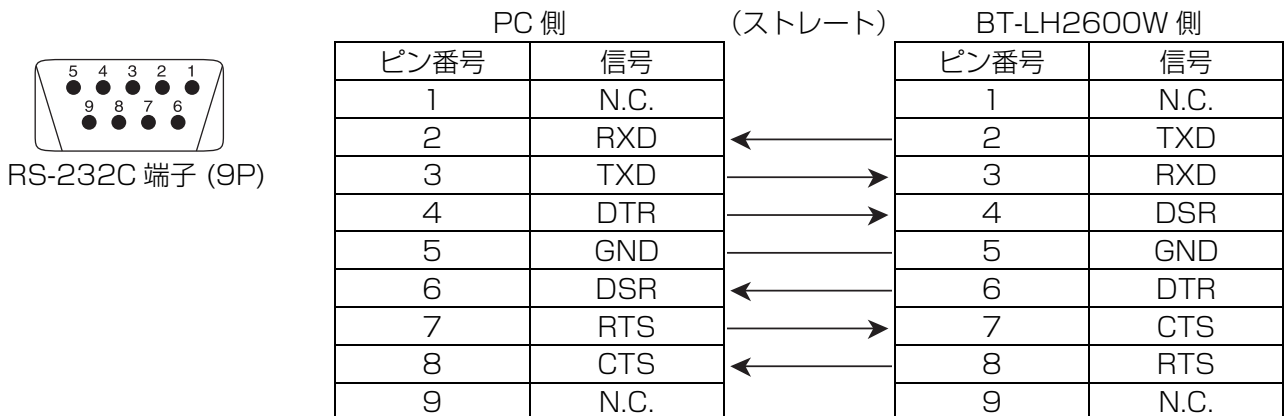
REMOTE 仕様 (つづき)

■ 割り当て項目の優先順位

- 「MARKER1」と「MARKER2」が同時に ON となった場合は、「MARKER1」が優先されます。ただし、表示アスペクトが 4:3 で「MARKER1」のアスペクトが 16:9、「MARKER2」のアスペクトが 4:3 の場合は、「MARKER2」を表示します。その場合は「MARKER2」に対して背景制御を行います。
- 「MARKER BACK HALF」と「MARKER BACK BLACK」が同時に ON となった場合、「MARKER BACK BLACK」が優先されます。
- 「INPUT SEL. VIDEO」、「INPUT SEL. Y/C」、「INPUT SEL. SDI1」、「INPUT SEL. SDI2」、「INPUT SEL. YPbPr/RGB」が複数同時に ON された場合は、最後に ON になったものが優先されます。
- 「GAMMA SEL. FILM」と「GAMMA SEL. STUDIO/PST」が同時に ON となった場合、「GAMMA SEL. FILM」が優先されます。

RS-232C 端子

RS-232C 端子のピン配列および接続は、下図および右下表を参照下さい。
RS-232C を使用した詳しいシステムに関しては、販売店にご相談下さい。



RS-232C の REMOTE 制御方法

■ コネクタと信号名

コネクタ : D-SUB 9 ピン (メス)
信号名

ピン番号	信号名	説明
1	N.C.	未接続
2	TXD	送信データ
3	RXD	受信データ
4	DSR	内部で接続されています。
5	GND	グラウンド
6	DTR	内部で接続されています。
7	CTS	内部で接続されています。
8	RTS	内部で接続されています。
9	N.C.	未接続

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期式
転送速度	9600 bps
パリティ	なし
データ長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

■ コマンドフォーマット

STX(02h)	コマンド	:	データ	ETX(03h)
----------	------	---	-----	----------

- コマンドは STX に続く 3 文字で、最後に ETX を付加します。
- 必要に応じてコマンドの後に : (コロン) とデータを付加します。

■ 応答フォーマット

1. 設定コマンド応答

STX(02h)	コマンド	ETX(03h)
----------	------	----------

2. 問い合わせコマンド応答

STX(02h)	データ	ETX(03h)
----------	-----	----------

3. エラー応答

STX(02h)	エラーコード	ETX(03h)
----------	--------	----------

エラーコード

ER001 : 無効コマンド

ER002 : パラメータエラー

REMOTE 仕様 (つづき)

■ 設定コマンド

No	コマンド	説明	データ	応答
1	IIS	入力切換	0 : SDI1 1 : SDI2 2 : VIDEO 3 : YP _B Pr/RGB 4 : Y/C	IIS
2	VPC	画質調整	CON00-60 : コントラスト設定 BRI00-60 : ブライトネス設定 CRO00-60 : クロマ設定 PHA00-60 : フェーズ設定	VPC
3	OBO	ブルーオンリー	0 : OFF 1 : ON	OBO
4	OHV	HV ディレイ	0 : OFF 1 : H DELAY 2 : V DELAY 3 : HV DELAY	OHV
5	DSD	ステータス表示	0 : CONTINUE 1 : 3SEC OFF 2 : OFF	DSD
6	ISM	アナログモード	ANA0 : YP _B Pr ANA1 : RGB-VIDEO ANA2 : RGB-COMP.	ISM
7	IRF	RGB シンク	0 : G-ON 1 : EXT	IRF
8	DMK	マーカー設定	16:9 マーカー MK100 : OFF MK101 : 80% MK102 : 88% MK103 : 93% MK104 : 95% MK105 : 14:9 MK106 : 13:9 MK107 : 4:3 MK108 : 90% MK109 : CNSCO MK110 : VISTA 4:3 マーカー MK200 : OFF MK201 : 80% MK202 : 88% MK203 : 93% MK204 : 95% MK208 : 90% マーカー背景 BAK0 : NORMAL BAK1 : HALF BAK2 : BLACK センターマーカー CMK0 : OFF CMK1 : ON	DMK
9	MGM	ガンマ選択	1 : STANDARD 2 : FILM 3 : STUDIO/PST	MGM
10	MCT	色温度設定	00 : D56 01 : D65 02 : D93 03 : VAR1 04 : VAR2 05 : VAR3 10-73 : USER0 ~ 63	MCT
11	VPC	シャープネス設定	SHPO : LOW SHP1 : HIGH SHH00-30 水平シャープネス設定 SHV00-30 垂直シャープネス設定	VPC
12	MIP	IP モード設定	0 : MODE1 1 : MODE2	MIP
13	OMO	モノクロ設定	1 : OFF 2 : ON	OMO
14	MAS	SD アスペクト設定	0 : 16:9 1 : 4:3	MAS
15	MSC	スキャン設定	0 : NORMAL 1 : UNDER	MSC
16	MCO	リモート設定	0 : LOCAL 1 : REMOTE	MCO
17	MLE	リモート時操作設定	0 : DISENABLE 1 : INPUT	MLE

REMOTE 仕様 (つづき)

■ 問い合わせコマンド

No	コマンド	説明	データ	応答
1	QIS	入力選択		0 : SDI1 1 : SDI2 2 : YP _B Pr 3 : RGB-VIDEO 4 : VIDEO 5 : Y/C 6 : RGB-COMP.
2	QPC	画質調整	CON : コントラスト設定値	00-60
			BRI : ブライト設定値	00-60
			CRO : クロマ設定値	00-60
			PHA : フェーズ設定値	00-60
3	QBO	ブルーオンリー		0 : OFF 1 : ON
4	QMK*1	マーカー	MAK : エリアマーカー	00 : OFF 01 : 80% 02 : 88% 03 : 93% 04 : 95% 05 : 14:9 06 : 13:9 07 : 4:3 08 : 90% 09 : CNSCO 10 : VISTA
			BAK : 背景	0 : NORMAL 1 : HALF 2 : BLACK
			CMK : センターマーカー	0 : OFF 1 : ON
5	QGM	ガンマ		1 : STANDARD 2 : FILM 3 : STUDIO/PST
6	QCT	色温度		00 : D56 01 : D65 02 : D93 03 : VAR1 04 : VAR2 05 : VAR3 10-73 : USER0 ~ 63
7	QPC	シャープネス	SHP : シャープネスモード	0 : LOW 1 : HIGH
			SHH : 水平シャープネス値	00-30
			SHV : 垂直シャープネス値	00-30
8	QIP	IP モード		0 : MODE1 1 : MODE2
9	QMO	モノクロ		1 : OFF 2 : ON
10	QAS	アスペクト		0 : 16:9 1 : 4:3
11	QSC	スキャン		0 : NORMAL 1 : UNDER
12	QAN	アナログ モード		0 : YP _B Pr 1 : RGB-VIDEO 2 : RGB-COMP.
13	QSY	RGB シンク		0 : G-ON 1 : EXT
14	QFR	フォーマット		00 : NO SIGNAL 01 : 1080/60I 02 : 1080/59I 03 : 1080/50I 04 : 1080/30P 05 : 1080/29P 06 : 1080/25P 07 : 1080/24P 08 : 1080/23P 09 : 1080/24PsF 10 : 1080/23PsF 13 : 720/60P 14 : 720/59P 15 : 576/50I 16 : 480/60P 17 : 480/60I 18 : 576/50P 20 : 1080/60P 21 : 1080/59P 22 : 1080/50P 23 : 720/50P 50 : 640 × 400(70Hz) 51 : 640 × 480(60Hz) 52 : 640 × 480(75Hz) 53 : 640 × 480(85Hz) 54 : 800 × 600(60Hz) 55 : 800 × 600(75Hz) 56 : 800 × 600(85Hz) 57 : 1024 × 768(60Hz) 58 : 1024 × 768(70Hz) 59 : 1024 × 768(75Hz) 60 : 1024 × 768(85Hz) 61 : 1280 × 768(60Hz) 62 : 1280 × 768(75Hz) 63 : 1280 × 1024(60Hz) FF : UNSUPPORT SIGNAL

*1 マーカー同時表示のときは、16:9のマーカーの状態を返します。

エラー / 警告表示

何らかの原因で本機にエラーなどが起こった場合、画像調整つまみ上のランプが **1 秒間隔で点滅します**（エラー / 警告表示をお知らせします）。

エラー / 警告表示	症状	対処方法
インバーターエラー	バックライトの明るさを制御しているインバーターに異常があった場合、バックライトが OFF になります（画面が真っ黒になります）。	電源を一度 OFF にしてから、再び ON にしてください。それでもエラー表示がされる場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
ファンストップエラー	本体後面のファンに異常があると停止します。画像表示されている場合はそのまま表示されます。	電源を一度 OFF にしてから、再び ON にしてください。それでもエラー表示される場合は、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。ファンストップエラー発生時は、「SYSTEM CONFIG」メニューの「FAN MOTOR」を「OFF」に設定（20 ページ参照）すれば、画面の明るさは下がりますが、継続してご使用いただけます。

お手入れについて


- キャビネットや液晶保護パネル表面の汚れはやわらかい布で軽くふき取ってください
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になります。
- 本機の清掃にベンジン、シンナーなどを使用しないでください
表面が変色したり、塗装が落ちるおそれがあります。
- スプレー洗剤などを直接かけない
水滴が内部に入ると故障の原因になります。

定格

■ 総合

電源入力

電源電圧	消費電流
AC: 100 V - 240 V, 50/60 Hz	1.5 A - 0.6 A

 は安全上のご注意です。

外形寸法（幅×高さ×奥行）：

663 mm x 456.1 mm x 270 mm（スタンド含む）

663 mm x 441.5 mm x 114 mm

（本体のみ、スタンド含まず）

重量： 17.5 kg（スタンド含む）

15.0 kg（本体のみ、スタンド含まず）

動作周囲温度： +5 °C ~ +35 °C

動作周囲湿度： 20 % ~ 80 %（結露なきこと）

保存温度： -20 °C ~ +60 °C

■ ディスプレイパネル

寸法： 26 インチ

アスペクト比： 16:9

ピクセル数： 1366 x 768 (WXGA)

ディスプレイカラー：約 1,677 万色

視野角： 上下 176°，左右 176°

■ コネクター部

映像信号入力：

VIDEO 入力：

1 系統, BNC x 2 (スルーアウトコネクター x 1)

Y/C 入力：

1 系統, Y/C コネクター x 2 (スルーアウトコネクター x 1)

アナログコンポーネント (YPbPr/RGBS)：

入力 1 系統, BNC x 8 (スルーアウトコネクター x 4)

ただし、RGB-COMP. 入力時は R, G, B, HD, VD の BNC x 5 になります。(スルーアウトは接続できません)

SDI 入力：

2 系統, BNC x 3 (switched-out コネクター x 1)

音声入力： ピン端子 x 2 (ステレオ)

GPI: D-SUB, 9 ピン x 1

RS-232C: D-SUB, 9 ピン x 1

外部 DC 電源入力： XLR 4 ピン x 1

■ 信号レベル

VIDEO 系

EXT SYNC の信号レベル： 0.3 Vp-p ~ 4.0 Vp-p

HD/VD の信号レベル： TTL レベル

AUDIO 系

AUDIO 入力の信号レベル： 0.5 Vrms

スピーカーの出力： 0.5 W + 0.5 W

■ SDI EMBEDDED AUDIO

HD - SDI: SMPTE299M 準拠

サンプリングレート：

48 kHz, synchronous/asynchronous に対応

8 ch 対応

SD - SDI: SMPTE272M 準拠

サンプリングレート：

48 kHz, synchronous に対応

4 ch 対応

定格 (つづき)

■ 対応信号フォーマット一覧表 (○：対応、△：制限付対応)

入力信号 フォーマット	VIDEO	Y/C	SDI1	SDI2	YPbPr	RGB-VIDEO	RGB-COMP.
NTSC	○	○					
PAL	○	○					
480/59.94I			○	○	○	○	
480/59.94P					○	○	
576/50I			○	○	○	○	
576/50P					○	○	
720/50P			○	○	○		
720/59.94P			○	○	○	○	
720/60P			○	○	○	○	
1035/59.94I			△ ^{*1}	△ ^{*1}	△ ^{*1}	△ ^{*1}	
1035/60I			△ ^{*2}	△ ^{*2}	△ ^{*2}	△ ^{*2}	
1080/23.98PsF			○	○	○		
1080/24PsF			○	○	○		
1080/23.98P			○	○	○		
1080/24P			○	○	○		
1080/25P			○	○	○		
1080/29.97P			○	○	○		
1080/30P			○	○	○		
1080/50I			○	○	○	○	
1080/50P					○		
1080/59.94I			○	○	○	○	
1080/60I			○	○	○	○	
1080/59.94P					○		
1080/60P					○		
640 × 400(70Hz)							○
640 × 480(60Hz)							○
640 × 480(75Hz)							○
640 × 480(85Hz)							○
800 × 600(60Hz)							○
800 × 600(75Hz)							○
800 × 600(85Hz)							○
1024 × 768(60Hz)							○
1024 × 768(70Hz)							○
1024 × 768(75Hz)							○
1024 × 768(85Hz)							○
1280 × 768(60Hz)							○
1280 × 768(75Hz)							○
1280 × 1024(60Hz)							○

*1 1035/59.94I 入力時は、1080/59.94I として表示されます。各種マーカー表示も、1080/59.94I 用マーカーが表示されます。

*2 1035/60I 入力時は、1080/60I として表示されます。各種マーカー表示も、1080/60I 用マーカーが表示されます。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

保守点検について

保守点検はお客様が安心して本機をご使用いただくために、定期的に適切な保守整備を行い、その機能を常に良好な状態に維持するためのものです。本機の有する機能を未永く、十二分に発揮させるためにも、必ず保守点検を実施していただくようお願い申し上げます。

1. 定期保守サービスの必要性

液晶パネルにはバックライトが使用されています。この部品（消耗部品）は時間経過につれて劣化し、性能低下や故障の原因になります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的サービス、すなわち機器の性能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐため、保守サービスを定期的に行うことが非常に大切であると言えます。

2. メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

品名	数量	定期保守点検と時間
バックライト 及び液晶パネル	1	50,000 時間ごとに交換*
ファン	1	10,000 時間ごとに交換

* バックライト単体の交換はできません。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品

当社では、LCDビデオモニターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、メンテナンス対象部品につきましては、上記の「保守点検について」の項目をご覧ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	LCDビデオモニター
品番	BT-LH2600W
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

